



保健室だより

内科検診 臨時号

大阪府立茨木西高等学校 保健室 2016.4

明日、内科検診があります。

その内科検診にかかわってのみんなの疑問・質問・・・etc

「内科検診は何のためにするの・・・？」 「どんなことを診ているの・・・？」

そして・・・「なぜ 下着を着ていてはいけないの・・・？」 に答えて・・・。

学校管理下での突然死の割合は、死亡事故全体のおよそ57%を占め、その原因の71%が心臓系疾患です。

そこで学校では、毎年必ず健康診断で、「心臓に異常がないか・・・」調べることにしています。

★内科検診は 心臓の異常を調べるための大切な検診の一つです。



内科検診の
目的は・・・？

まずは、心臓の音を聞くことです。

聴診器を使って、心臓が正常に動いているかを調べます。

心臓の音を正確に聞き取るためには、図の○印の位置に、

正しく聴診器を当てる必要があります。

そしてこの5つのポイントのうちの一つが、ちょうど左乳房の下にあります。

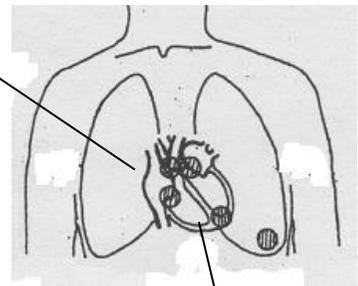
それは心尖部といい、心臓の音を聞く上で、欠かすことのできない部分です。

レントゲン・心電図などでは判らない心臓弁（血液の逆流を防ぐ弁）の異常などがこの聴診でわかります。

実は、女子のブラジャーはこの聴診ポイントにちょうど重なっていて、下着を付けたままでは、聴診器を正しく聴診ポイントに当てることができません。

また男子も、シャツなどを着ていると、裾から差し入れた聴診器に布の触れる音が入って正しく聞き取れません。

だから、校医の先生の前では、女子は下着の留め金をはずした状態で、男子は下着を脱いだ状態で検診を受けてもらう必要があります。



右肺

心臓

注意！

やむを得ない場合をのぞいて、欠席はしないようにしてください。

欠席をすると、自分で病院を受診して、その結果提出してもらわなければなりません。